

ことがありました。そこである日、9年生の教室に見学に来て行きました。9年生では先生が全て英語で授業をします。それを見て子どもたちに「あなたたちもこういうことができるようになるよ。でもそのためには今から頑張って勉強しないとね」と話しました。それから6年生の姿勢が変わって、とても良い体験になりました。中学生が手本として身近にいることはすごく良いことだと思います。

**市長** 6年生から7年生へのつながりがスムーズになるのですね。これまで英語の授業があるのは中学生の3年間に当たる7年生から9年生でした。しかし今は、1年生から英語の勉強ができますよね。

**エミリー** 大学で言語学について勉強しましたが、12歳から13歳くらいの年齢は言語学習の臨界期とされています。それよりも前に言語を学び始めると、その後に始めるよりも学習がずっと容易になります。ですから、小学校の早い時期から英語の授業が始まるのは良いことだと思います。外国語を学び続けやすくなります。

**市長** 2020年度から新学習指導要領が全面実施されることとなります。津市では

2年前倒しで2018年度から5・6年生で教科化を踏まえた英語を、3・4年生で外国語活動を開始しました。つまり津市の子どもたちは、早い時期から英語の学習を始められます。しかし、言い換えると他の市町村の子どもたちより、早くから英語を勉強しないといけない。英語教育を2年前倒しすることについてどう思いますか。

**エミリー** 津市は有利なスタートを切ったのではないのでしょうか。3・4年生の英語を「活動」にしておくのも良いと思います。内容が易しい



ので子どもたちがプレッシャーを感じることはありません。5・6年生では教科になりますが、中学校と比べると内容が易しい。子どもたちが中学校で本格的に英語を勉強するまでの良い期間になりますね。

**市長** 4年生から5年生へのステップアップの過程もありますよね。3・4年生の外国語活動と5・6年生の英語について違いはありますか。

**エミリー** 活動では、単語や「I like ~」「I want ~」のような簡単なフレーズを学びます。ほと

んどはゲーム形式で進むので、小さい子どもたちには良い方法です。

**市長** なるほど。

**エミリー** 今年度5・6年生で気付いた違いは、去年まではゲームをしていましたが今年は英語の教材を多く使っている点です。より真剣な学習になっていて、家での学習や書く練習もあります。大きな違いがあるわけではなく今もゲームの要素はありますが、学習的な面が強くなりました。

**市長** うれしいことに、みさとの丘学園の5・6

## 早い時期から英語に触れる その後の学習がスムーズに

## Emily Yandel

みさとの丘学園外国語指導助手(ALT)

## エミリー ヤンデルさん

平成5(1993)年11月14日生まれ、25歳。アメリカ・ジョージア州出身。オハイオ州立大学卒業。平成28年7月から津市で外国語指導助手(ALT)として勤務。平成30年3月まで北立誠小・南立誠小・橋北中。平成30年4月からみさとの丘学園。アメリカ在住時から日本語を勉強、平成19年と平成24年に来日経験あり。

